

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
A 話すこと・聞くこと	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>文章や話題の内容を整理したうえで、自分の考えや意見をもち、客観的な根拠に基づいて話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や話題の展開を理解し、根拠となる箇所を明確にすることができる。 他の生徒や教員の意見を参考に、論拠に基づき、自分の考えを話すことができる。 <p>目的や場にあわせて言葉遣いや態度を身につけ、分かりやすく適切な言葉で話したり、要点を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ学習や発表などで、目的や対象を理解し、場に応じて言葉を選んで話すことができる。 グループ学習や発表などで、要点を押さえながら、話し手の主張を聞き取ることができる。 <p>相手の考えを踏まえて自分の考えをまとめ、相手の立場を尊重しながら話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ学習などで、相手と自分の考えの共通点や相違点をとらえることができる。 役割や状況に応じて、話し合いを円滑に進行するために、言葉遣いに留意しながら意見を交わすことができる。 <p>自己評価や相互評価を参考に、自己の話し方や態度、言葉遣いを見直すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手や場に応じた言葉遣い、態度、論の構成・展開の仕方など、自己や他者の良い点・改善点を指摘し、見直しに役立てることができる。

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
B 書くこと	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>誰に向かって何のために書くのかを考え、対象や目的に応じた文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や目的に応じて題材を選び、自身の体験や考えから材料を取捨選択することができる。 ・常体と敬体を対象や目的に応じて使い分け、どちらかに統一して書くことができる。 <p>論理の構成や展開の仕方について理解し、論拠に基づいて自分の考えを文章にすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論拠に基づいて自分の考えをまとめ、「序論—本論—結論」、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の構成を理解しながら文章を書くことができる。 <p>説明や描写を使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の仕方を書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的に説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、表現技法などを用いて、読み手が想像しやすいように描写することができる。 <p>文学作品などの優れた表現に接して、書き手の多様な思いや考えに気付くことができ、そこから自分の表現に生かすことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学作品などにおける発想の豊かさや構成・展開の工夫、語句の使い方などの表現の特色を指摘し、自らの表現に役立てることができる。

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	<p>【現代文】 文章の形態（評論・小説・随筆・韻文）における表現技法や語句の使い方の工夫などを意識しながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩法を理解し、文章中の比喩について説明できる。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱などを通して味わうことができる。 <p>【古典】 文章の形態の違いを理解し、表現技法や語句の使い方の工夫などを意識しながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 ・文節や単語など区切りに注意して音読することができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的なきまりに従って音読することができる。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	<p>【現代文】 文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを読み取ったり、要約したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中の指示語の内容や接続詞の働きを理解して読むことができる。 ・各段落を要約したり、指定された条件に従って全体を要約したりすることができる。 <p>【古典】 基本的な文語のきまりや訓読のきまりに注意しながら、平易な文章を読み取ることができる。</p>

学習指導要領	都立大江戸高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用言・助動詞・係り結び等の基本的な文法事項を理解して、文章を読み取ることができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解して、文章を読み取ることができる。 <p>【現代文】</p> <p>文章に描かれた登場人物の行動や性格、心情の変化をとらえることができる。</p> <p>情景描写から心情を読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>宮沢賢治『よだかの星』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動や、心情とその変化を読み取り、説明することができる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえて説明することができる。 <p>【古典】</p> <p>平易な文章を読み、場面や登場人物を押さえ、話の流れを理解することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <p>『徒然草』「仁和寺にある法師」などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 <p>漢文</p> <p>「梟逢鳩」などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再読文字を含む訓読のきまりに基に、話の流れを理解することができる。

学習指導要領	都立大江戸高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>論理的な文章の内容を構造的に理解し、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の意図を的確にとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落分けなどの作業を通じて、各段落の働きや段落相互の関係を読み取り、文章の構成や展開を意識することができる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を説明できる。 ・表現の仕方や内容から、書き手の主張や意図を読み取ることができる。 <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、自分の考えを深めたり、そこから得た情報を目的に応じて活用したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を通じて様々な形態（文学的・論理的・実用的な文章）や、幅広い内容・分野（芸術・社会科学・自然科学など）の本や文章を読むことができる。 ・読んだ本や文章から必要な情報を読み取り、目的に応じて活用することができる。 ・文章に表れた書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。

学習指導要領		都立大江戸高校 学カスタンダード
<p>伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>日本の伝統的な言語文化について主要な事柄を知り、興味・関心を広げることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌や百人一首を通して日本の伝統文化に触れる。実際に詠み、音の調子を味わう。 ・主要な古典知識（月の異名、十二支、古時刻・古方位など）について理解する。 ・中国の文字や書物の影響のうち主要なもの（故事成語、漢詩など）について理解する。 <p>基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、用言の活用、助動詞、係り結びなどの基本事項を理解する。 ・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。 <p>【現代文】</p> <p>語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を理解し、日本語の表現の特徴や言語の役割に気づくことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを理解できる。 ・和語、漢語、外来語の区別ができ、具体的な使われ方などを理解する。 <p>【古典】</p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。</p>

学習指導要領	都立大江戸高校 学カスタンダード
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読んだり、表記したりすることができる。 ・基本的な語句の意味を理解し、古今異義語の意味の違いを知る。 <p>【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。 ・語句の意味・用法を理解し、それらを適切に用いることができる。 <p>【古典】 辞典を活用し、基本的な古語や漢語の意味を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章内の基本的な古語の意味を理解する。 ・文章内の基本的な漢語の意味を理解する。 <p>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を文や文章の中で使用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段階的に設定した漢字テストを毎週実施し、日本漢字能力検定5級から3級程度の漢字について、読んだり書いたりすることができる。